



八中だより



第1号

令和6年4月9日

府中市立

府中第八中学校

入学、進級おめでとうございます

校長 高汐 康浩

学校周辺には桜の花や色とりどりの花が咲き誇り生徒たちを優しく迎えてくれています。厳肅な雰囲気の中、期待や不安をもちながら瞳をキラキラ輝かせながら、新入生が入学式に堂々と臨みました。新入生の保護者の皆様、ご入学おめでとうございます。心からお慶び申し上げます。

そして、新二年生、新三年生の皆さんには、これまでの活躍にエールを送るとともに、これからの成長を期待しながら、進級をお祝い申し上げます。府中第八中学校の教職員一同、生徒たちがよいスタートを切れるよう一生懸命、始業の準備をしてきました。

本年度がスタートし数日しか経っていませんが、早速、保護者の方、地域の方からたくさんのお話を伺うことができました。関係者の方や地域の方々からは「学校を訪問すると生徒の皆さんのとてもあたたかい心遣いに感動しています」。や「八中生の皆さんのあいさつと礼儀は素晴らしいと思います。いい伝統を作り上げましたね。」など、お褒めの言葉、励ましのお言葉をたくさんいただきました。そして、皆さんが生徒たちに積極的に関わってくださっていることに心から感謝いたします。生徒がもっている力をどのように引き出し、どのような場面で発揮させるかは、生徒たちの成長を見守っている大人の役割であると思っております。

今後引き続き、学校の教職員はもちろんです、保護者の皆様、地域の皆様にもそれぞれ役割の中で本校の生徒たち一人一人に寄り添い向き合っています。



学びと
思いやり

ただければと思っております。

二宮尊徳が残した言葉に、「かわいくば、五つ教えて三つ褒め、二つ叱ってよき人となせ」というものがあります。子供を育てる本質を言い当てているのではないかと、思っております。生徒たちのよいところを見つけたら間髪を入れずに褒めます。褒められれば気分がよくなり頑張れる、頑張れるからうまくいく、うまくいくから褒められるという歯車を回しましょう。しかし、叱るべきときは、タイムリングを逃さず、はっきり、きっちり叱ることも忘れてはいけません。思っております。叱られて、褒められることの価値が分かることも多くあります。

今年度も府中八中の教育目標『すすんで学び、丈夫なからだで、みんな仲よく』を掲げ、

- ・ 主体的に学びに向かう力を育てる教育
- ・ 豊かな知性を育てる教育
- ・ 豊かな感性を育てる教育
- ・ 豊かな社会性を育てる教育
- ・ 規範意識、基本的な生活習慣を育てる教育

(自己実現力の育成)

地域の安全文化を醸成する力を育てる教育
を行うために、教職員一丸となって取り組んでまいります。どうぞよろしくお願いたします。

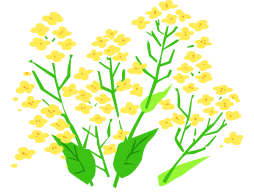


〈在籍生徒数〉 一学年216名、二学年250名、三学年261名
 全校生徒数727名
 〈学校住所・電話番号〉
 〒182-0035 府中市四谷一丁目二八二七
 電話 〇四二(三六四)一八八一
 ★学校だより
 へのご意見、
 ご感想をお待
 ちしています

「学校生活を充実させる秘訣は・・・」

3年 宮西 くるみ さんの力強いメッセージ

(第51回入学式の「歓迎の言葉」から)



『新入生歓迎の言葉』

温かい日差しが降り注ぐ今日このごろ、新入生の皆さん、ご入学おめでとうございます。在校生一同、心より歓迎します。私たちは皆さんと一緒に学校生活を送ることを、とても楽しみにしていました。

今、皆さんはどのような気持ちでいるのでしょうか。新しい友達ができるか、どんな先生がおいでなのか、先輩はどんな感じなのかなど、期待と不安でいっぱいかもしれません。

私も二年前、皆さんと同じように期待に胸を膨らませながらも、緊張して入学式を迎えました。今日は皆さんより少しだけ早く中学生になった私から、学校生活を充実させる秘訣を伝えたいと思います。

まずは、毎朝、元気な声で挨拶をすることです。大きな声で挨拶をすれば、不思議なくらい明るい気持ちでその日の一日をスタートすることができそうです。そうした明るい気持ちでクラスの友達や先輩方を見てください。同じ制服を着た八中生がみんな仲間だと気づくはずですよ。また、八中には、体育祭や合唱コンクール、校外学習など、小学校よりずっと大規模な行事があります。行事に熱心に取り組み、思いを相手に伝えあうことで、クラスが団結し、学年の絆が強まります。そして、出遭った仲間とより深く知り合うことができるのです。

春の全国交通安全運動

中学校では、教科によって先生が代わり、定期テストがあります。定期テストは範囲が広いです。授業は真面目に聞き、早いうちからテスト勉強を始めるといいと思います。勉強にも手を抜かずにがんばっていきましょう。

さらに、八中には、十五の部活動があります。他学年の生徒と共に一つの目標に向かって一杯に打ち込み、より高みを目指します。つらい練習を乗り越え、勝利を手にした時、その喜びは格別です。

ぜひ、八中でさまざまな事に挑戦し、充実した時を過ごしてください。私達と共に素敵な思い出を作ってください。

令和六年四月九日

在校生代表

宮西 くるみ

《運動の全国重点》

- 1 こどもが安全に通行できる道路交通環境の確保と安全な横断方法の実践
- 2 歩行者優先意識の徹底と「思いやり・ゆずり合い」運転の励行
- 3 自転車・電動キックボード等利用時のヘルメット着用と交通ルールの遵守

《運動期間》

令和六年四月六日(土)から

十五日(月)までの十日間

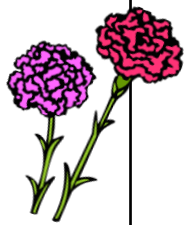


令和6年度 教職員一覧

校長		高 汐 康 浩		副校長		平 賀 徹		
学年 学級		担 任		副担任・学年付き				
1 学 年	A組	横溝	明子 (学年主任・音楽)	川口	道世 (英語)	【都事務】 鈴木 敬 【市事務】 平岡 恵 【用 務】 星野 靖彦 【スクールカウンセラー】 石坂 綾 原 多満子 【特別支援教室専門員】 山下 靖夫 【講師】高橋 宏和 (理科) 小川 遼 (保体) 【支援員】 副校長支援 市川 万知子 丸山 悦子 藤倉 和江 橋本 由理子 学校支援 小埜 イツ子 粟谷 千衣子 寺村 久美子 金野 尚子 澤井 えり子 渡邊 弘充 合配支援 菊池 裕喜 合配看護師： 阿部 敏子 金子 ユミ子 松本 友香里 【家庭と学校の連携推進委員】 小埜イツ子 【地域コーディネータ】 山原 充 丸山 悦子		
	B組	小山	悟 (社会)	橋本	昌子 (理科・学校経営支援部主任)			
	C組	麻生	晃平 (数学)	馬場	安希子 (数学)			
	D組	秋山	由佳 (国語)	市川	陽子 (保体)			
	E組	萩原	茂樹 (社会)	谷合	美宙 (国語)			
	F組	戸嶋	優大 (英語)	濱田	聖子 (保健主任・養護)			
2 学 年	A組	仙浪	拓哉 (数学)	岸 正太郎 (学年主任・理科)	井上 幸治 (技術)	神崎 幸 (国語)	高田 重也 (理科)	安藤 暁 (数学・非常勤教員)
	B組	榎本	恵子 (英語)					
	C組	渡邊	来騎 (美術)					
	D組	坂口	幸代 (英語)					
	E組	加藤	彰 (社会)					
	F組	城山	理央 (英語)					
	G組	綱島	剛 (生活指導主任・保体)					
3 学 年	A組	西島	大 (国語)	高野 次郎 (学年主任・保体)	尾本 昌克 (教務主任・英語)	鳴川 裕美 (給食主任・家庭)	長沼 健一 (美術)	世良 太靖 (数学)
	B組	平野	早織 (保体)					
	C組	長井	忍 (社会)					
	D組	藤原	寛子 (理科)					
	E組	曾原	唯 (英語)					
	F組	酒井	俊嘉 (音楽)					
	G組	大森	洋明 (進路指導主任・数学)					

教職員の新任、退任、転出

◎新任	高野次郎 西島大 藤原寛子 橋本昌子 神崎幸宙 谷合美彰 加藤悟 小世良太靖 鈴木木敬 星野靖彦 松本佳子 宮田聖一 永田梨香 馬場雅美 宮川直美 小島直也 三浦雄悦 平田美和 金沢雄太 細井俊一 鈴木中本 田根	主幹教諭 主任教諭 主任教諭 主任教諭 教諭 教諭 教諭 教諭 教諭 教諭 事務主事 用務員 教諭 主幹教諭 主任教諭 主任教諭 主任教諭 主任教諭 主任教諭 主任教諭 教諭 教諭 教諭 事務主事 用務員	保健体育 国語 理科 理科 国語 国語 社会 社会 数学 国語 社会 社会 国語 社会 国語 国語 国語 社会 理科 保健体育 英語 数学 理科	府中市立府中第七中学校から 町田市立町田第三中学校から 武蔵野市立第三中学校から 稲城市立稲城第三中学校から あきる野市立東中学校から 初任 筑波学院大学(准教授)から 稲城市立稲城第一中学校から 初任 東京都保健医療局(島しょ保健所八丈出張所)から 府中市立新町小学校から 武蔵村山市立第三中学校 八王子市立打越中学校 日野市立三沢中学校 福生市立福生第一中学校 羽村市立羽村第一中学校 国分寺市立第四中学校 多摩市立聖ヶ丘中学校 稲城市立稲城第一中学校 世田谷区立喜多見中学校 板橋区立赤塚第三中学校 都立中野特別支援学校 府中市立府中第一小学校
-----	---	--	--	---



『自他の尊重』（始業式の話の一部）

令和六年度が始まりました。三月の寒気の影響で桜の開花が遅れたため、新年度の初めに春爛漫を楽しむことができたのではないのでしょうか。そして、よりフレッシュな気持ちで始業式に臨んでいることだと思えます。まずは、進級おめでとう。そして、春休み中に大きな事故・怪我の報告もなく、皆さんが元気に登校してくれたことをまず喜びたいと思います。

新三年生は最上級生になりました。今年度は義務教育の最終学年になります。一年上の先輩がそうであるように、皆さんは、一年後の今日は新しい環境でその日を迎えています。八中での最後の一年間を毎日毎日大切に過ごしてほしいと思っています。また、新二年生も上級生になりました。後輩が明日入学してきます。皆さんがそうであったように新入生から憧れられる二年生の集団を作り上げてほしいと思っています。

誰もが気持ち新たによいスタートを切ろうと思っています。昨年度も皆さんに紹介した詩と同じですが、スタートのこのときに少しでも参考になればと思い、改めて「一個の人間」を朗読します。

（武者小路実篤『武者小路実篤詩集』から「一個の人間」を

紹介しました。掲載許可をいただいておりますので掲載しません）

私自身が若い頃この詩から衝撃と感銘を受けました。若気の至りといえは聞こえがいいかもしれませんが。私が中学生だった頃、高校生だった頃、大学生だった頃、そして教師になりたての頃、そんなに経験があるわけでもないのにすべてを分かりきったことのように講釈（こうしゃく）を垂（た）れた（た）ことなどがあつたり、意見の食い違いがあるにも関わらず自分の意見を押し通そうとしたりしたことがあります。今思えば、とても恥ずかしくなっています。でも、恥ずかしいと思う反面、そんな経験をしたからこそ、たくさん学ぶことができたのだと思っています。そんなときに図書館で出会ったのが、武者小路実篤詩集のこの詩でした。衝撃的でした。

ご本人は生前、本当の名前は「むしゃこうじさねあつ」であると言っていたようですが、一般的には「むしゃのこうじさねあつ」と呼ばれています。隣の調布市には、記念館と実篤公園がありますので、機会があれば訪ねてみてください。

この詩は、「人間の尊厳」をテーマとしています。一個の人間として、自立して生きていくこと、同時に、他人も一個の人間として尊重することの大切さを教えてくれています。このことは人間が幸せに生きていくために不可欠なことだと思います。他人に依存のもしくは支配的になり、他人のエネルギーを吸い取って生きるのではなく、自分の中から湧き出る新鮮なエネルギーを活力とすることで生きていくという実感を得ること、そして、一個の人間である他人を尊重し、お互い協力して生きていくことを求め続けたいと思います。一個の人間とは自立した人生を送ることができる人間ということだと思います。今、自立する大人になりつつある段階の皆さんに、この話が少しでも参考になればと思っています。

今年度を迎えるにあたり、教職員の皆さんが、生徒の皆さんを指導したり支えたりできるように着々と一生懸命に準備をしてきました。地域の皆さんともお会いしました。地域の皆さんからは、引き続きやさしいきもちをもって健やかにたくましく育てほしいという強い思いが伝わってきました。生徒の皆さんは皆さんを応援してくれる人たちがいっぱいいることに安心して新しいスタートを切ってほしいと思います。そして、今年度も、毎日毎日を大切にして、自分自身を磨き続けていきましょ。

※講釈を垂れる（こうしゃくをたれる）…つまらない話を長々と上から目線で話さずま

□■四月の生活目標■□

新たな決意と目標をもって出発しよう

学びと
思いやり

